

「看護師特定行為研修オンライン科目『臨床病態生理学特論（'17）』のコンテンツ制作業務」
仕様書

1-基本事項

(1) 件名

「看護師特定行為研修オンライン科目『臨床病態生理学特論（'17）』のコンテンツ制作業務」
(以下「コンテンツ制作業務」という。)

(2) 業務概要

放送大学学園（以下「放送大学」という。）が開設する「看護師特定行為研修オンライン科目『臨床病態生理学特論（'17）』」の授業展開に必要なコンテンツと講義資料を新規制作する。

(3) 目的

団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて、さらなる在宅医療等の推進を図っていくためには、個別に熟練した看護師のみでは足りず、医師又は歯科医師の判断を待たずに、手順書により一定の診療の補助を行う看護師を養成し、確保していく必要がある。このため、診療の補助のうち、一定の行為を特定行為として規定し、これらの特定行為を医師が予め作成した手順書(指示)によってタイムリーに実施する看護師を養成する研修制度が創設された。この制度により、研修を終えた看護師は、医師からの手順書による指示の下、患者の状態を見極めることで、手順書に示された症状の範囲内であれば、手順書に定められた特定行為をタイムリーに行うことができるようになる。「コンテンツ制作業務」は、この研修制度の講義部分を、放送大学がオンラインで提供するための業務となる。各学期1,000名程度の多数の受講者を見込む。

(4) 受注者要件

- ①一般向けのテレビ番組等の映像制作について企画および制作経験があること。
- ②ホームページの構築の経験があり、LMSでの双方向性機能を活かしたコンテンツ制作が可能なこと。
- ③本業務に科目の内容を正確に理解できるスキルを持つ人員を配置できること。

(5) コンテンツ制作業務の内容

①科目名

臨床病態生理学特論（'17）

②科目区分

大学院 生活健康科学

③講義回数

8回構成（1単位）

（各回には授業映像による講義時間45～60分程度、および小テストなどの学習活動が含まれる。詳細については業務請負者に対して開示する。）

④開設期間

2017年度第2学期～2022年度第2学期の6年間

(6) 科目の目的

看護師が適切に臨床実践するに際して、多様な臨床場面において、あらゆる年齢層の対象者に対してケアを安全に実践するために、重要な病態の変化や必要となる治療の特性を包括的にいち早くアセスメントする基本的な能力を身につける。科目の授業内容は別紙3シラバスに記述。

(7) 業務範囲

「2-制作業務内容」に記載の全ての業務を、請負者の責任において実施する。

但し以下の事項については、放送大学において実施する。

- ・ 授業を担当する講師の選定と出演の交渉
- ・ 講師によるシラバスの作成、構成授業内容の監修
- ・ 主任講師、分担講師に関わる、必要な経費や出演料などの放送大学規程に関わる支払い（詳細については業務請負者に対して開示する。）

(8) 制作体制

制作に当たっては、以下の業務分担をカバーする担当者の氏名を明示の上、制作体制を受注者側に確立すること。ただし、コンテンツ内容のチェック担当の業務を外部に委託する場合は、放送大学の了承を得ること。

- ・ 管理担当
- ・ 制作担当
- ・ コンテンツ内容の校正・考査
- ・ 納品物の仕様・フォーマット等の検品担当

(9) 最終納品日

平成29年6月30日（金）

※納品スケジュールを放送大学と協議の上作成し、各回の分納も可能とする。

※まずは初回（授業1コマ）の収録・編集済のコンテンツ一式を完成させた時点で、納品物の内容や形式等について、担当主任講師および放送大学の納品検収をひととおり受け、納品内容に不備がないことを確認すること。その後、納品スケジュールに沿って各回収録・編集等完了後に分納し、最終納品日までに全ての納品を完了すること。

(10) 納品物

- ①映像コンテンツ一式
- ②LMSコンテンツ一式
- ③講義掲載資料一式
- ④コンテンツ設計・制作に使用した書類・データ等（映像シナリオ、スライド、字幕データ、小テスト等の課題データ、著作権リスト等）

※納品の詳細は、「2-制作業務内容」「3-納品データとフォーマット」に記載

(1 1) 納品場所

放送大学学園 オンライン授業準備室
〒261-8586 千葉県千葉市美浜区若葉 2-11

(1 2) 検収

放送大学が納品物の形式と内容、品質を確認して検収とする。

(1 3) 請負代金の請求・支払

請負者は、(1 2) の検収に合格したときは、請負代金を放送大学(担当: 財務部経理課)に請求する。放送大学は、適正な請求書受領後、40 日以内に財務部経理課から支払うものとする。

(1 4) 成果物の帰属

- ①本件請負者は、本件に関連し作成した全ての著作物に関する著作権(著作者人格権を除く)が放送大学に帰属し、請負者側が一切の著作者人格権を行使しないことに同意すること。
- ②本件請負者は、本件に関連し使用した著作物の文章・映像・楽曲・画像・イラスト・フォント等の全てのデータに関してその著作権の所在を確認し、著作権の侵害等が無いことを放送大学に対して開設期間中、保障するものとする。著作権処理および著作権使用料等の著作権に関わる費用は請負者が負担し、著作権侵害等の訴えがあった場合には請負者側の責任においてこれを解決すること。
- ③本件請負者は、放送大学が成果物について、授業に必要な印刷物および広報を目的としたホームページや印刷物として利用することを許可すること。

(1 5) 秘密の保持

本業務によって知り得た秘密事項を第三者に漏らしてはならない。

(1 6) 個人情報の保護

本業務を実施するにあたり、個人情報の保護に関する法令や規範を遵守するとともに、個人情報の保護の重要性を認識し、個人の権利又は利益を侵害することのないよう、個人情報の取り扱いを適正に行わなければならない。

(1 7) 保証

検収後 1 年以内に請負者の責任による瑕疵が生じた場合には、無償にて納品物の修正にあたること。

(1 8) 注意事項

- ①業務の実施にあたり、故意又は過失によって第三者に損害を与えたときは、その賠償の責を負うこと。
- ②放送大学の承諾を得ないで第三者に再委託してはならない。
- ③この仕様書に定めのない事項または疑義のある事項については、放送大学と協議を行い決定するものとする。

2-制作業務内容

「看護師特定行為研修オンライン科目『臨床病態生理学特論（'17）』のコンテンツ制作」に当たり以下の業務を行う。

- ①授業科目の設計、デザイン、制作
 - ②科目ページで展開するコンテンツの構成、制作
 - ③LMS の設定
 - ④制作した科目ページプログラムとコンテンツのサーバへのアップロード、テスト
 - ⑤その他、「コンテンツ制作業務」に必要な業務
- ※詳しい仕様は、業務請負者に対して開示する。

制作の流れとして、シラバスをもとに「科目設計書」「授業時間計算書」「掲載指示書」「制作スケジュール」などのインストラクショナルデザインに必要となる設計提案を作成し、それに沿った各授業映像のシナリオおよび構成案等を作成し、放送大学の承認を得て、以下の要素で構成される科目コンテンツを制作する。

- ①授業科目ページ
- ②授業映像
- ③小テストやレポートなどの学習課題
- ④授業科目ページ掲載資料
 - ・講義ノート
 - ・スライド
- ⑤科目紹介ビデオの作成

具体的には以下の項目に留意して制作を進めていくこと。

1) 授業科目ページの制作

放送大学の支給する「オンライン科目」の共通画面（テーマ）を使用し、「臨床病態生理学特論（'17）」のオンライン授業を展開する画面を制作する。

授業科目ページの制作に当たっては、共通画面（テーマ）に用意された機能を生かし、学生が関心を持って学べる授業が展開できるよう工夫する。

①授業科目ページの画面の構成

授業科目ページは以下の機能を構成する。

- ・メニュー機能
- ・映像視聴機能
- ・小テストページ機能
- ・授業科目ページ掲載資料のリンク機能・ダウンロード機能等

- ・レポートアップロード機能
- ・ディスカッション機能
- ・その他授業の展開に必要な機能

②授業科目ページの確認

構成したページは、放送大学による確認を行い、修正が必要な場合、修正する。

③授業科目ページの構築

LMS の仕様に従い、授業科目ページをコーディングし構築する。

④テストと確認

完成した授業科目ページは、放送大学の用意する動作検証用の環境にアップロードして動作を確認する。放送大学による確認を行い、修正が必要な場合、修正する。

⑤授業科目ページの納品

動作検証用サーバへのアップロードを行い、請負者側で十分な検収を行った上で、放送大学の検収を受け、必要な場合修正を行い、その検収の完了をもって、授業科目ページを納品とする。

2) 各授業展開構成の制作

①構成の作成

科目のシラバスに沿ってオンラインで授業展開する構成を制作する。構成は、授業回ごとに、それぞれの授業で予定する全要素を盛り込んで制作する。

②構成の承認

構成は、放送大学と十分な打ち合わせの上で作成し、承認を受けること。

この際、使用する（または使用予定の）映像や写真などについて、権利者の情報、使用条件、必要なクレジットなどについて明示し、あわせて承認を受けること。

映像など、授業構成要素の制作によって構成に変更が生じた場合は、放送大学に変更箇所を報告し、承認を受けること。

3) 映像素材の制作

①映像シナリオの作成

授業展開構成に沿って映像シナリオを制作する。映像シナリオは、映像で予定する全要素を反映して制作する。

映像シナリオ作成に当たっては、必要に応じて、インサート用の取材映像撮影場所となる機関などと交渉し打ち合わせを行う。

文字やイラストでの解説素材の原稿を制作し、映像シナリオに反映する。

入手した写真や映像の使用を想定する場合、素材を入手の手立てを講じた上で映像シナリオに反映する。

各回の完成映像が 45 分～60 分程度に収まるようにシナリオをまとめること。なお、各回の完成映像は、学生が視聴しやすいように、

- ・導入映像（5分程度）
- ・展開映像（10～15分程度）×3～4本
- ・サマリー映像（5分程度）

に分割できるように予め映像シナリオを構成し、完成映像は合計45分～60分程度に収めること。

②映像シナリオの承認

映像シナリオは、放送大学と十分な打ち合わせの上で作成し、承認を受けること。この際、予定する撮影映像や使用写真などについて、撮影場所、協力者の情報、使用条件、必要なクレジットなどについて放送大学所定の書式にて提出し、あわせて権利者より承諾を受け、承諾書とともに提出すること。

なお、映像シナリオ最終版は放送大学に必ず納品すること。

③使用映像および素材の制作・準備

- ・文字やイラストでの解説用素材（スライド素材）を制作する。
- ・必要な映像素材を取材し仮編集する。

（インサート映像として、病院や緊急医療施設、在宅医療現場での疾患、診断、治療などの講義関連施設およびシーンの映像を含む。）

- ・借用する写真や映像を入手する。

※各回の授業映像の冒頭に使用するオープニング映像は、放送大学の支給する「看護師特定行為研修オンライン科目」の共通のオープニング映像を使用する。

④収録

放送大学と協議の上決定された内容に沿って、講師の授業を収録する。

授業の収録は以下を配慮して行うこと。

- ・音声などが明瞭に録音できる環境であること。
- ・良好な映像が撮影できる明るさがある、又は用意できる環境であること。
- ・収録場所は、学習に効果的な映像となるように工夫すること。
- ・解説用素材やインサート映像などは、講師が授業を行いながら視聴できる環境であること。

⑤編集

授業収録映像、取材映像、解説素材などを合わせ、シナリオに従って映像素材として仮編集する。

⑥試写

仮編集した映像を、放送大学の立ち会いのもと試写を行い、最終映像素材に向け協議を行う。

⑦本編集、MA

試写終了後、放送大学の指示等を反映し、テロップ等を入れて、本編集を行う。

本編集終了後、音楽や必要な効果音などを加え、映像素材を完成させる。

各回の完成映像が 45 分～60 分程度に収まるようにディレクションを行うこと。なお、各回の完成映像は、学生が視聴しやすいように

- ・導入映像（5分程度）
- ・展開映像（10～15分程度）×3～4本
- ・サマリー映像（5分程度）

に映像を分割して LMS に設置できるように工夫しておくこと。

⑧完成試写

完成した映像素材は、完成試写を行い放送大学の承認を受けること。

⑨字幕データの制作

完成した映像素材の字幕データを制作する。

完成した映像素材のベースとなる字幕データのフォーマットは WEBVTT のサブセットとして、指定したサーバにアップロードして、データファイルとして納品し、放送大学の検収を受ける。（詳細は業務請負業者に対して開示する。）

⑩映像素材の納品

完成した映像素材は指定のフォーマットでエンコードし、指定したサーバにアップロードして HDD 等の記録メディアで納品し放送大学の検収を受ける。

納品するデータのフォルダ階層やフォルダ名、ファイル名については放送大学の指示に従うこと。

※エンコードのフォーマットは、「3-納品物とフォーマット」を参照。詳しい仕様は、業務請負者に対して開示する。

4) 小テストなどの学習活動の制作

①小テストなどの学習活動の問題・課題の作成

シラバスに従い、小テストなどの学習活動の問題・課題を講師とともに作成し、講師の最終確認を受けること。

②小テストなどの学習活動の内容の承認

放送大学に小テストなどの学習活動の内容と構成の承認を受けること。

③小テストなどの学習活動の制作

LMS の仕様に沿って、小テストなどの学習活動の画面を制作する。

④小テストなどの学習活動の確認

完成した小テストなどの学習活動は、放送大学の用意する動作検証用の環境にアップロードし、学生のテストアカウントで実際に受験してみるなど、確実に正しく動作するかを確認し、担当主任講師の検収を確実に受けること。修正が必要な場合、修正する。

⑤小テストなど学習活動の納品

動作検証用の環境にアップロードし、HDD 等の記録メディアで納品し、放送大学による検収を受けること。

5) 授業科目ページ掲載資料

A：講義ノート

①制作

授業映像と小テストなどの学習活動の内容に沿って講義ノートを制作する。
講義ノートは、授業の内容をテキストとビジュアルで分かりやすく構成する。

②確認

講義ノートデータを指定のフォーマットに処理し、動作検証用の環境にアップロードし動作を確認する。

放送大学により講義ノートの内容の確認を行い、指示に従って修正する。

③納品

講義ノートデータを動作検証用の環境にアップロードの上、HDD 等の記録メディアで編集可能なプロジェクトファイルを納品し、放送大学による検収を受けること。

B：スライド

授業映像中で使用した解説図などを抜き出したデータを制作する。

動作検証用の環境にアップロードし動作を確認する。

① 納品

指定のフォーマットにデータ処理後、スライドを動作検証用の環境にアップロードの上、HDD 等の記録メディアで編集可能なプロジェクトファイルを納品し、放送大学による検収を受けること。

6) 科目紹介ビデオの制作

学生募集や科目登録の際に参考になる 5 分程度の科目紹介ビデオを放送大学の定める構成で作成する。なお、科目紹介ビデオは開講前から使用するため、その納期は平成 29 年 5 月 15 日とする。

7) 科目設計書・授業時間計算書・掲載設定書

放送大学と担当講師に確認の上、科目設計書、授業時間計算書、および LMS の掲載設定内容を定めた掲載設定書を、放送大学所定の書式で作成・納品し、放送大学による検収を受けること。

3-納品データとフォーマット

詳細のフォーマットやAPIは、業務請負者に対して開示する。

納品は基本的に、動作検証用の環境へのアップロードおよびHDD等の記録メディアによる納品とする。

※納品するデータのフォルダ階層やフォルダ名、ファイル名などは予め放送大学が指定した形式にあわせて納品すること。

※納品する前に、必ず請負者側でコンテンツ内容の校正・考査を完了させ、全ての納品物の仕様・フォーマット等の検品を事前に請負者側で済ませた上で、放送大学に納品すること。その際、請負者側の校正・考査・納品検品担当者名を明示すること。

(1) 映像素材

① 撮影素材

映像：Full HD 1920x1080 29.97P 以上

音声：16bits 48kHz PCM

ラウドネス設定 -24LKFS ±1dB 厳守

※VU計やピークメーターにおける数値ではなく、

ラウドネスメーターで計測した数値。

納品前にサンプルを提出して承認を得ること。

② 完成映像素材

- ・ 映像の最初と最後に1秒無音、最後は特別な意図がない限り黒みを1秒挿入
- ・ 放送大学で再編集可能なようにプロジェクトファイル及び関連ファイルを所定のフォルダ階層・フォルダ名・ファイル名で納品すること。

(映像編集ソフトウェアはADOBE PREMIERE とすること。)

③ アップロード素材

映像解像度：640x360 29.97P

PC用とモバイル用の2種類エンコードフォーマットのデータを納品

<PC用> ※科目の性質に応じて変更可

形式：H264 MP4

映像解像度：640x360 29.97P

プロファイル：ベースライン

ターゲットビットレート：0.5Mbps

最大ビットレート：0.6Mbps

キーフレーム間隔：30

オーディオ形式：AAC

サンプルレート：44.1kHz

チャンネル：モノラル

ビットレート：80kbps

<モバイル用> ※科目の性質に応じて変更可

形式：H264 MP4

映像解像度：640x360 29.97P

プロファイル：ベースライン

ターゲットビットレート：0.3Mbps

最大ビットレート：0.4Mbps

キーフレーム間隔：30

オーディオ形式：AAC

サンプルレート：44.1kHz

チャンネル：モノラル

ビットレート：40kbps

④ マスター素材

完パケと白素材のデータを、HDD等の記録メディアに記録して納品すること。

<完パケ用及び白素材用>

形式：H264 MP4

映像解像度：1920x1080 29.97P

プロファイル：メイン

ターゲットビットレート：32Mbps

最大ビットレート：40Mbps

キーフレーム間隔：90

オーディオ形式：AAC

サンプルレート：48kHz

チャンネル：モノラル

ビットレート：160kbps

⑤ 編集素材

後日修正が生じた場合に修正可能となるように、ビデオカメラで収録したBPAVもしくはMOV素材を納品すること。

⑥ 科目紹介ビデオ

形式：H264 MP4

映像解像度：640x360 30P

プロファイル：ベースライン

ターゲットビットレート：0.7Mbps

最大ビットレート：1.0Mbps

キーフレーム間隔：30
オーディオ形式：AAC
サンプルレート：44.1kHz
チャンネル：モノラル
ビットレート：80kbps

※画面サイズのリサイズ後も文字情報などが読めるようにしておくこと。

(2) その他の素材

映像、画像、楽曲、スライド、字幕、映像シナリオ、講義ノート、小テストデータ等の素材については、ADOBE PREMIERE 等の映像制作プロジェクトファイル、パワーポイントやフォトショップ、WEBVTT、WORD などの編集加工が可能なオリジナル素材を HDD 等の記録メディアで納品すること。

(3) 授業科目ページ／小テスト／確認テスト

LMS の Moodle Ver3.1 上で動作するように制作し、請負者側で十分な検収を行っておくこと。

※開発時点の最新バージョンでも動作確認をしておくこと。

(4) LMS の設定・検証

LMS の Moodle Ver3.1 上に対して授業展開に必要な設定を行う。

※開発時点の最新バージョンでも動作確認をしておくこと。

※LMS の設定後、学生のテストアカウント等で正しく動作することを確認・検証しておくこと。

(5) コンテンツ資料

コンテンツ制作業務で使用した素材のうち、著作権処理を行った全ての資料、借用などによりクレジット表記が必要な全てのコンテンツ資料のリストの作成を行い、提出すること。

(6) 科目設計書・授業時間計算書・掲載設定書・制作報告書・著作物使用一覧

放送大学と担当講師に確認の上、科目設計書、授業時間計算書、LMS の掲載設定内容を定めた掲載設定書、制作報告書、著作物使用一覧等を、所定の書式に記載して提出すること。

「看護師特定行為研修オンライン科目『疾病・臨床病態概論（'17）』のコンテンツ制作業務」
仕様書

1-基本事項

(1) 件名

「看護師特定行為研修オンライン科目『疾病・臨床病態概論（'17）』のコンテンツ制作業務」
(以下「コンテンツ制作業務」という。)

(2) 業務概要

放送大学学園（以下「放送大学という。）が開設する「看護師特定行為研修オンライン科目『疾病・臨床病態概論（'17）』」の授業展開に必要なコンテンツと講義資料を新規制作する。

(3) 目的

団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて、さらなる在宅医療等の推進を図っていくためには、個別に熟練した看護師のみでは足りず、医師又は歯科医師の判断を待たずに、手順書により一定の診療の補助を行う看護師を養成し、確保していく必要がある。このため、診療の補助のうち、一定の行為を特定行為として規定し、これらの特定行為を医師が予め作成した手順書(指示)によってタイムリーに実施する看護師を養成する研修制度が創設された。この制度により、研修を終えた看護師は、医師からの手順書による指示の下、患者の状態を見極めることで、手順書に示された症状の範囲内であれば、手順書に定められた特定行為をタイムリーに行うことができるようになる。「コンテンツ制作業務」は、この研修制度の講義部分を、放送大学がオンラインで提供するための業務となる。各学期1,000名程度の多数の受講者を見込む。

(4) 受注者要件

- ①一般向けのテレビ番組等の映像制作について企画および制作経験があること。
- ②ホームページの構築の経験があり、LMSでの双方向性機能を活かしたコンテンツ制作が可能なこと。
- ③本業務に科目の内容を正確に理解できるスキルを持つ人員を配置できること。

(5) コンテンツ制作業務の内容

①科目名

疾病・臨床病態概論（'17）

②科目区分

大学院 生活健康科学

③講義回数

15回構成（2単位）

（各回には授業映像による講義時間45～60分程度、および小テストなどの学習活動が含まれる。詳細については業務請負者に対して開示する。）

④開設期間

2017年度第2学期～2022年度第2学期の6年間

(6) 科目の目的

看護師が適切に臨床実践するに際して、多様な臨床場面において、あらゆる年齢層の対象者に対してケアを安全に実践するために、重要な病態の変化や必要となる治療の特性を包括的にいち早くアセスメントする基本的な能力を身につける。科目の授業内容は別紙3シラバスに記述。

(7) 業務範囲

「2-制作業務内容」に記載の全ての業務を、請負者の責任において実施する。

但し以下の事項については、放送大学において実施する。

- ・ 授業を担当する講師の選定と出演の交渉
- ・ 講師によるシラバスの作成、構成授業内容の監修
- ・ 主任講師、分担講師に関わる、必要な経費や出演料などの放送大学規程に関わる支払い（詳細については業務請負者に対して開示する。）

(8) 制作体制

制作に当たっては、以下の業務分担をカバーする担当者の氏名を明示の上、制作体制を受注者側に確立すること。ただし、コンテンツ内容のチェック担当の業務を外部に委託する場合は、放送大学の了承を得ること。

- ・ 管理担当
- ・ 制作担当
- ・ コンテンツ内容の校正・考査
- ・ 納品物の仕様・フォーマット等の検品担当

(9) 最終納品日

平成29年6月30日（金）

※納品スケジュールを放送大学と協議の上作成し、各回の分納も可能とする。

※まずは初回（授業1コマ）の収録・編集済のコンテンツ一式を完成させた時点で、納品物の内容や形式等について、担当主任講師および放送大学の納品検収をひととおり受け、納品内容に不備がないことを確認すること。その後、納品スケジュールに沿って各回収録・編集等完了後に分納し、最終納品日までに全ての納品を完了すること。

(10) 納品物

- ①映像コンテンツ一式
- ②LMSコンテンツ一式
- ③講義掲載資料一式
- ④コンテンツ設計・制作に使用した書類・データ等（映像シナリオ、スライド、字幕データ、小テスト等の課題データ、著作権リスト等）

※納品の詳細は、「2-制作業務内容」「3-納品データとフォーマット」に記載

(1 1) 納品場所

放送大学学園 オンライン授業準備室
〒261-8586 千葉県千葉市美浜区若葉 2-11

(1 2) 検収

放送大学が納品物の形式と内容、品質を確認して検収とする。

(1 3) 請負代金の請求・支払

請負者は、(1 2) の検収に合格したときは、請負代金を放送大学(担当: 財務部経理課)に請求する。放送大学は、適正な請求書受領後、40 日以内に財務部経理課から支払うものとする。

(1 4) 成果物の帰属

- ①本件請負者は、本件に関連し作成した全ての著作物に関する著作権(著作者人格権を除く)が放送大学に帰属し、請負者側が一切の著作者人格権を行使しないことに同意すること。
- ②本件請負者は、本件に関連し使用した著作物の文章・映像・楽曲・画像・イラスト・フォント等の全てのデータに関してその著作権の所在を確認し、著作権の侵害等が無いことを放送大学に対して開設期間中、保障するものとする。著作権処理および著作権使用料等の著作権に関わる費用は請負者が負担し、著作権侵害等の訴えがあった場合には請負者側の責任においてこれを解決すること。
- ③本件請負者は、放送大学が成果物について、授業に必要な印刷物および広報を目的としたホームページや印刷物として利用することを許可すること。

(1 5) 秘密の保持

本業務によって知り得た秘密事項を第三者に漏らしてはならない。

(1 6) 個人情報の保護

本業務を実施するにあたり、個人情報の保護に関する法令や規範を遵守するとともに、個人情報の保護の重要性を認識し、個人の権利又は利益を侵害することのないよう、個人情報の取り扱いを適正に行わなければならない。

(1 7) 保証

検収後 1 年以内に請負者の責任による瑕疵が生じた場合には、無償にて納品物の修正にあたること。

(1 8) 注意事項

- ①業務の実施にあたり、故意又は過失によって第三者に損害を与えたときは、その賠償の責を負うこと。
- ②放送大学の承諾を得ないで第三者に再委託してはならない。
- ③この仕様書に定めのない事項または疑義のある事項については、放送大学と協議を行い決定するものとする。

2-制作業務内容

「看護師特定行為研修オンライン科目『疾病・臨床病態概論（'17）』のコンテンツ制作」に当たり以下の業務を行う。

- ①授業科目の設計、デザイン、制作
 - ②科目ページで展開するコンテンツの構成、制作
 - ③LMS の設定
 - ④制作した科目ページプログラムとコンテンツのサーバへのアップロード、テスト
 - ⑤その他、「コンテンツ制作業務」に必要な業務
- ※詳しい仕様は、業務請負者に対して開示する。

制作の流れとして、シラバスをもとに「科目設計書」「授業時間計算書」「掲載指示書」「制作スケジュール」などのインストラクショナルデザインに必要となる設計提案を作成し、それに沿った各授業映像のシナリオおよび構成案等を作成し、放送大学の承認を得て、以下の要素で構成される科目コンテンツを制作する。

- ①授業科目ページ
- ②授業映像
- ③小テストやレポートなどの学習課題
- ④授業科目ページ掲載資料
 - ・講義ノート
 - ・スライド
- ⑤科目紹介ビデオの作成

具体的には以下の項目に留意して制作を進めていくこと。

1) 授業科目ページの制作

放送大学の支給する「オンライン科目」の共通画面（テーマ）を使用し、「疾病・臨床病態概論（'17）」のオンライン授業を展開する画面を制作する。

授業科目ページの制作に当たっては、共通画面（テーマ）に用意された機能を生かし、学生が関心を持って学べる授業が展開できるよう工夫する。

①授業科目ページの画面の構成

授業科目ページは以下の機能を構成する。

- ・メニュー機能
- ・映像視聴機能
- ・小テストページ機能
- ・授業科目ページ掲載資料のリンク機能・ダウンロード機能等

- ・レポートアップロード機能
- ・ディスカッション機能
- ・その他授業の展開に必要な機能

②授業科目ページの確認

構成したページは、放送大学による確認を行い、修正が必要な場合、修正する。

③授業科目ページの構築

LMS の仕様に従い、授業科目ページをコーディングし構築する。

④テストと確認

完成した授業科目ページは、放送大学の用意する動作検証用の環境にアップロードして動作を確認する。放送大学による確認を行い、修正が必要な場合、修正する。

⑤授業科目ページの納品

動作検証用サーバへのアップロードを行い、請負者側で十分な検収を行った上で、放送大学の検収を受け、必要な場合修正を行い、その検収の完了をもって、授業科目ページを納品とする。

2) 各授業展開構成の制作

①構成の作成

科目のシラバスに沿ってオンラインで授業展開する構成を制作する。構成は、授業回ごとに、それぞれの授業で予定する全要素を盛り込んで制作する。

②構成の承認

構成は、放送大学と十分な打ち合わせの上で作成し、承認を受けること。

この際、使用する（または使用予定の）映像や写真などについて、権利者の情報、使用条件、必要なクレジットなどについて明示し、あわせて承認を受けること。

映像など、授業構成要素の制作によって構成に変更が生じた場合は、放送大学に変更箇所を報告し、承認を受けること。

3) 映像素材の制作

①映像シナリオの作成

授業展開構成に沿って映像シナリオを制作する。映像シナリオは、映像で予定する全要素を反映して制作する。

映像シナリオ作成に当たっては、必要に応じて、インサート用の取材映像撮影場所となる機関などと交渉し打ち合わせを行う。

文字やイラストでの解説素材の原稿を制作し、映像シナリオに反映する。

入手した写真や映像の使用を想定する場合、素材を入手の手立てを講じた上で映像シナリオに反映する。

各回の完成映像が 45 分～60 分程度に収まるようにシナリオをまとめること。なお、各回の完成映像は、学生が視聴しやすいように、

- ・導入映像（5分程度）
- ・展開映像（10～15分程度）×3～4本
- ・サマリー映像（5分程度）

に分割できるように予め映像シナリオを構成し、完成映像は合計45分～60分程度に収めること。

②映像シナリオの承認

映像シナリオは、放送大学と十分な打ち合わせの上で作成し、承認を受けること。この際、予定する撮影映像や使用写真などについて、撮影場所、協力者の情報、使用条件、必要なクレジットなどについて放送大学所定の書式にて提出し、あわせて権利者より承諾を受け、承諾書とともに提出すること。

なお、映像シナリオ最終版は放送大学に必ず納品すること

③使用映像および素材の制作・準備

- ・文字やイラストでの解説用素材（スライド素材）を制作する。
- ・必要な映像素材を取材し仮編集する。
（インサート映像として、病院や緊急医療施設、在宅医療現場での疾患、診断、治療などの講義関連施設およびシーンの映像を含む。）
- ・借用する写真や映像を入手する。

※各回の授業映像の冒頭に使用するオープニング映像は、放送大学の支給する「看護師特定行為研修オンライン科目」の共通のオープニング映像を使用する。

④収録

放送大学と協議の上決定された内容に沿って、講師の授業を収録する。

授業の収録は以下を配慮して行うこと。

- ・音声などが明瞭に録音できる環境であること。
- ・良好な映像が撮影できる明るさがある、又は用意できる環境であること。
- ・収録場所は、学習に効果的な映像となるように工夫すること。
- ・解説用素材やインサート映像などは、講師が授業を行いながら視聴できる環境であること。

⑤編集

授業収録映像、取材映像、解説素材などを合わせ、シナリオに従って映像素材として仮編集する。

⑥試写

仮編集した映像を、放送大学の立ち会いのもと試写を行い、最終映像素材に向け協議を行う。

⑦本編集、MA

試写終了後、放送大学の指示等を反映し、テロップ等を入れて、本編集を行う。

本編集終了後、音楽や必要な効果音などを加え、映像素材を完成させる。

各回の完成映像が 45 分～60 分程度に収まるようにディレクションを行うこと。なお、各回の完成映像は、学生が視聴しやすいように

- ・導入映像（5分程度）
- ・展開映像（10～15分程度）×3～4本
- ・サマリー映像（5分程度）

に映像を分割して LMS に設置できるように工夫しておくこと。

⑧完成試写

完成した映像素材は、完成試写を行い放送大学の承認を受けること。

⑨字幕データの制作

完成した映像素材の字幕データを制作する。

完成した映像素材のベースとなる字幕データのフォーマットは WEBVTT のサブセットとして、指定したサーバにアップロードして、データファイルとして納品し、放送大学の検収を受ける。（詳細は業務請負業者に対して開示する。）

⑩映像素材の納品

完成した映像素材は指定のフォーマットでエンコードし、指定したサーバにアップロードして HDD 等の記録メディアで納品し放送大学の検収を受ける。

納品するデータのフォルダ階層やフォルダ名、ファイル名については放送大学の指示に従うこと。

※エンコードのフォーマットは、「3-納品物とフォーマット」を参照。詳しい仕様は、業務請負者に対して開示する。

4) 小テストなどの学習活動の制作

①小テストなどの学習活動の問題・課題の作成

シラバスに従い、小テストなどの学習活動の問題・課題を講師とともに作成し、講師の最終確認を受けること。

②小テストなどの学習活動の内容の承認

放送大学に小テストなどの学習活動の内容と構成の承認を受けること。

③小テストなどの学習活動の制作

LMS の仕様に沿って、小テストなどの学習活動の画面を制作する。

④小テストなどの学習活動の確認

完成した小テストなどの学習活動は、放送大学の用意する動作検証用の環境にアップロードし、学生のテストアカウントで実際に受験してみるなど、確実に正しく動作するかを確認し、担当主任講師の検収を確実に受けること。修正が必要な場合、修正する。

⑤小テストなど学習活動の納品

動作検証用の環境にアップロードし、HDD 等の記録メディアで納品し、放送大学による検収を受けること。

5) 授業科目ページ掲載資料

A：講義ノート

①制作

授業映像と小テストなどの学習活動の内容に沿って講義ノートを制作する。
講義ノートは、授業の内容をテキストとビジュアルで分かりやすく構成する。

②確認

講義ノートデータを指定のフォーマットに処理し、動作検証用の環境にアップロードし動作を確認する。
放送大学により講義ノートの内容の確認を行い、指示に従って修正する。

③納品

講義ノートデータを動作検証用の環境にアップロードの上、HDD 等の記録メディアで編集可能なプロジェクトファイルを納品し、放送大学による検収を受けること。

B：スライド

授業映像中で使用した解説図などを抜き出したデータを制作する。
動作検証用の環境にアップロードし動作を確認する。

① 納品

指定のフォーマットにデータ処理後、スライドを動作検証用の環境にアップロードの上、HDD 等の記録メディアで編集可能なプロジェクトファイルを納品し、放送大学による検収を受けること。

6) 科目紹介ビデオの制作

学生募集や科目登録の際に参考になる 5 分程度の科目紹介ビデオを放送大学の定める構成で作成する。なお、科目紹介ビデオは開講前から使用するため、その納期は平成 29 年 5 月 15 日とする。

7) 科目設計書・授業時間計算書・掲載設定書

放送大学と担当講師に確認の上、科目設計書、授業時間計算書、および LMS の掲載設定内容を定めた掲載設定書を、放送大学所定の書式で作成・納品し、放送大学による検収を受けること。

3-納品データとフォーマット

詳細のフォーマットやAPIは、業務請負者に対して開示する。

納品は基本的に、動作検証用の環境へのアップロードおよびHDD等の記録メディアによる納品とする。

※納品するデータのフォルダ階層やフォルダ名、ファイル名などは予め放送大学が指定した形式にあわせて納品すること。

※納品する前に、必ず請負者側でコンテンツ内容の校正・考査を完了させ、全ての納品物の仕様・フォーマット等の検品を事前に請負者側で済ませた上で、放送大学に納品すること。その際、請負者側の校正・考査・納品検品担当者名を明示すること。

(1) 映像素材

① 撮影素材

映像：Full HD 1920x1080 29.97P 以上

音声：16bits 48kHz PCM

ラウドネス設定 -24LKFS ±1dB 厳守

※VU計やピークメーターにおける数値ではなく、

ラウドネスメーターで計測した数値。

納品前にサンプルを提出して承認を得ること。

② 完成映像素材

- ・ 映像の最初と最後に1秒無音、最後は特別な意図がない限り黒みを1秒挿入
- ・ 放送大学で再編集可能なようにプロジェクトファイル及び関連ファイルを所定のフォルダ階層・フォルダ名・ファイル名で納品すること。

(映像編集ソフトウェアはADOBE PREMIERE とすること。)

③ アップロード素材

映像解像度：640x360 29.97P

PC用とモバイル用の2種類エンコードフォーマットのデータを納品

<PC用> ※科目の性質に応じて変更可

形式：H264 MP4

映像解像度：640x360 29.97P

プロファイル：ベースライン

ターゲットビットレート：0.5Mbps

最大ビットレート：0.6Mbps

キーフレーム間隔：30

オーディオ形式：AAC

サンプルレート：44.1kHz

チャンネル：モノラル

ビットレート：80kbps

<モバイル用> ※科目の性質に応じて変更可

形式：H264 MP4

映像解像度：640x360 29.97P

プロファイル：ベースライン

ターゲットビットレート：0.3Mbps

最大ビットレート：0.4Mbps

キーフレーム間隔：30

オーディオ形式：AAC

サンプルレート：44.1kHz

チャンネル：モノラル

ビットレート：40kbps

④ マスター素材

完パケと白素材のデータを、HDD等の記録メディアに記録して納品すること。

<完パケ用及び白素材用>

形式：H264 MP4

映像解像度：1920x1080 29.97P

プロファイル：メイン

ターゲットビットレート：32Mbps

最大ビットレート：40Mbps

キーフレーム間隔：90

オーディオ形式：AAC

サンプルレート：48kHz

チャンネル：モノラル

ビットレート：160kbps

⑤ 編集素材

後日修正が生じた場合に修正可能となるように、ビデオカメラで収録したBPAVもしくはMOV素材を納品すること。

⑥ 科目紹介ビデオ

形式：H264 MP4

映像解像度：640x360 30P

プロファイル：ベースライン

ターゲットビットレート：0.7Mbps

最大ビットレート：1.0Mbps

キーフレーム間隔：30
オーディオ形式：AAC
サンプルレート：44.1kHz
チャンネル：モノラル
ビットレート：80kbps

※画面サイズのリサイズ後も文字情報などが読めるようにしておくこと。

(2) その他の素材

映像、画像、楽曲、スライド、字幕、映像シナリオ、講義ノート、小テストデータ等の素材については、ADOBE PREMIERE 等の映像制作プロジェクトファイル、パワーポイントやフォトショップ、WEBVTT、WORD などの編集加工が可能なオリジナル素材を HDD 等の記録メディアで納品すること。

(3) 授業科目ページ／小テスト／確認テスト

LMS の Moodle Ver3.1 上で動作するように制作し、請負者側で十分な検収を行っておくこと。

※開発時点の最新バージョンでも動作確認をしておくこと。

(4) LMS の設定・検証

LMS の Moodle Ver3.1 上に対して授業展開に必要な設定を行う。

※開発時点の最新バージョンでも動作確認をしておくこと。

※LMS の設定後、学生のテストアカウント等で正しく動作することを確認・検証しておくこと。

(5) コンテンツ資料

コンテンツ制作業務で使用した素材のうち、著作権処理を行った全ての資料、借用などによりクレジット表記が必要な全てのコンテンツ資料のリストの作成を行い、提出すること。

(6) 科目設計書・授業時間計算書・掲載設定書・制作報告書・著作物使用一覧

放送大学と担当講師に確認の上、科目設計書、授業時間計算書、LMS の掲載設定内容を定めた掲載設定書、制作報告書、著作物使用一覧等を、所定の書式に記載して提出すること。